

**製品名: MUM1 (9F19) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe14242**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:200-1:500,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:100-1:1000,IP 1:100-1:500
分子量	52kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IRF4
別名	LSIRF; Multiple myeloma oncogene 1; NF-EM5; IRF4; MUM1; Transcriptional activator PIP;
遺伝子 ID	3662.0
SwissProt ID	Q15306
免疫原	ヒト MUM1 の合成ペプチド

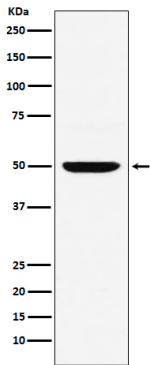
**背景**

メラノーマ関連抗原 (変異) 1 (MUM1、EXPAND1) は、間期染色体のクロマチン構造の維持に関与する PWWP ドメイン含有クロマチン結合タンパク質である。転写活性化因子。MHCクラスIプロモーターのインターフェロン刺激応答エレメント (ISRE) に結合します。PU.1とともに、免疫グロブリンラムダ軽鎖エンハンサーに結合します。リンパ系細胞に特異的な ISRE 標的シグナル伝達機構において役割を果たしていると考えられます。免疫細胞において BATF-JUNB ヘテロダイマーと複合体を形成し、CD8(+)樹状細胞の分化に関与し、免疫特異的調節エレメントである AICE 配列 (5'-TGAnTCA/GAAA-3') の認識に続き、BATF と IRF4 が協調的に結合し、遺伝子が活性化されます (類似性による)。

## 研究分野

タグとセルマーカー

## 画像データ



Daudi 細胞溶解物中の MUM1 発現のウェスタン ブロット分析。